

令和3年度学校経営計画

学校名 東広島市立入野小学校

学校長名 門長 幸江

I 学校の状況

学級数	8 学級	児童・生徒数	170名	教職員数	14名
メールアドレス	<a href="mailto:nyuno-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp">nyuno-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp</a>				
ホームページアドレス	<a href="http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/nyuno-sho/">http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/nyuno-sho/</a>				

II 教育目標

夢と志をもち 主体的に生きる児童の育成
---------------------

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

<p>ミッション：確かな学力と社会性を身に付け 自ら伸びようとする児童の育成 考える子 がんばる子 優しい子 健康な子</p> <p>ビジョン：信頼される学校づくり ・行くのが楽しくなる学校 ・環境の整った美しい学校 ・保護者・地域に開かれた学校</p>
---

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	自ら学ぶ態度の育成と学力の向上	○主体的・対話的な学びに向けた授業改善  ○学力の定着と向上	○「入野っ子学びの約束」を明確にし、学習規律を定着させる。 ○協働的な活動を工夫し、進んで学習に取り組む児童を育成する。 ○スキルタイム等で、国語・算数の基本的な問題に継続的に取り組ませる。	・児童の学びに向かう姿達成度（分からないことをそのままにしないで、最後まで頑張ったか、自分で進んで学習しているか）80%以上 ・単元末テスト<国語（思考力・表現力）のテスト、算数テスト>正答率80%以上
豊かな心	2	社会生活を円滑に進めていける資質・能力の向上	○児童の自己肯定感を高める生徒指導・学級経営の工夫 ○東広島スタンダードの定着（重点項目 挨拶・返事）	○縦割り班活動や行事等を通して、他学年の良いところを見つける。 ○委員会活動を中心に、「進んであいさつ」「はっきりとした声の返事」ができるような取組を呼びかける。	・自分のことが認められているか（自己肯定感）の肯定的評価の割合80%以上 ・東広島スタンダード（あいさつ・返事）がよくなったと自己評価する児童の割合80%以上
健やかな体	3	健やかな心身の育成	○運動や外遊びの奨励  ○メディア利用の適正化による基本的な生活習慣の定着	○委員会活動を中心に、外遊び奨励の全校での取組を企画、実行すると共に、環境整備を進める。 ○メディア利用に関する指導やメディア教室を実施し、児童にメディアについて考えさせる。	・運動や外遊びに対して肯定的な評価をする児童の割合80%以上 ・メディア利用2時間以内の児童90%以上
信頼される学校	4	信頼される学校づくり	○業務改善の推進 ○地域・保護者に開かれた学校の実現	①管理職と教職員との対話を通して教職員の改善意欲を高める。 ②業務の適正化により、教員が子供と向き合う時間を増やす。 ③アンケート（地域・保護者）の分析から改善計画・実施を図り、児童の育ちを地域・保護者に発信する。	・教職員満足度90%以上  ・地域・保護者満足度90%以上

V 学校評価

(1) 学校評価システムの組織（構成者を含む）

自己評価委員会	校長 教頭 教務主任 生徒指導担当 研究主任 保健主事
学校関係者評価委員会	他校教員 学識経験者 PTA（学校評議員） 校長 教頭 教務主任 生徒指導担当 研究主任 保健主事

(2) 自己評価及び学校関係者評価の実施計画（公表方法を含む）

マネジメントサイクルによる改善	自己評価委員会による自己評価表の作成（4月）⇒説明（保護者4月、関係者評価委員6月）⇒実践 ⇒保護者・児童アンケート等の結果分析を参考にして、全教職員による自己評価（10月、2月）⇒改善方策の明確化 ⇒学校関係者評価委員会（11月、3月）⇒実践 ⇒東広島市教育委員会への報告
公表方法	WEB, たより 等